

経営理念	<p>【学校教育目標】自ら学び行動し、自分・他者・地域を愛する子どもを育てる                  (めざす児童像)○自ら学び、関わり合える子ども ○自分も他者も大切にできる子ども ○自分の体を知り、健康・体力の向上をめざす子ども                  (めざす学校像)○活力あふれた学校 ○あたたかく楽しい学校 ○地域に開かれた学校                  (めざす教師像)○子どもを大切にし、常に子どもと保護者と共に歩む教師 ○人間性を磨き、教育公務員として自覚を持って取り組む教師                  ○お互いの良さを認め合い、協力して取り組む教師</p> <p>【学校経営目標】夜須中学校区一貫教育の推進に向けて～ 系統性・継続性・適時性のある教育実践と地域の信頼にこたえる学校づくり～</p>
------	---

【評価規準】 A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

中期経営目標	短期経営目標(評価項目)	自己評価		学校関係者評価		改善策等
		評価	達成状況	評価	考察	
学力の定着と向上	○教員としての資質や指導力を高め、基礎・基本の定着と学力の向上を図るためのわかる授業づくりを行う。 ○系統的・継続的な指導を行い、児童個々の能力の伸長と自ら学ぶ力の育成を図る。 ①校内研修や授業研究の充実を図り、指導力の向上を図るとともに、生徒指導の三機能を生かした授業づくりを推進する。 ■授業がよくわかる:68%→70%	B	・授業研修(国語)は全教員が実施、 ・外部講師を招聘しての全校授業研修実施 ・ICT(プログラミング)、生徒指導の三機能・QUの全校研修の実施 ・児童の「授業がよくわかる」の強肯定74%	B	積極的に研修に取り組むことが、「授業がよくわかる」の数値の増加につながっていると思われる。今後も、全教職員での研修や生徒指導の三機能を意識した授業を継続してもらいたい。	校内研修や授業研修を計画的に行う。また、生徒指導の三機能を意識した授業づくりを推進し、授業後の児童へのアンケートや振り返りなどを活用して検証していく。
	②学力調査等を活用し結果分析に基づき取組をサイクル化し、指導方法の改善を図るとともに、個々の児童の課題改善につなげる。 ■県版学力調査:県平均以上、二極化の解消	B	・全教員による各学力調査等の結果分析と対策について共有 ・県版学力調査において、4・5年生とも全国平均以下(自校採点) ・学力調査等において学年が上がるにつれて二極化が改善傾向	B	県版学力調査が全国平均以下となっているのは残念な結果である。しかし、二極化の解消や「授業がよくわかる」の数値の向上は成果であると思われるので、今後も全教職員での分析と対策を継続するとともに、学習内容の定着に努めてもらいたい。	学力調査の分析を共有するとともに、取組を検証する機会を設け、次年度につなげる。二極化への対応として、全教員で個別支援できる体制を来年度も継続する。また、基礎学力の定着のために放課後の加力指導の充実を図る。
	③児童の基礎学力定着のため、家庭学習の課題の質の向上を行うとともに、家庭と連携して家庭学習の定着を図る。 ■宿題提出率:94%→95%以上	B	・宿題提出調べなど家庭学習の定着のために家庭と連携した取組の実施 ・質の向上については、課題 ・宿題提出調べ提出率7月87%、1月95%	B	家庭学習が定着しつつあると思われるので、今後も保護者と連携した取組を継続してもらいたい。また、内容や質の向上に努めることによって学力向上につなげてもらいたい。	家庭との連携を継続するとともに、「予習」→「授業」→「復習」のサイクルを意識し、意欲をもって家庭学習に取り組めるよう内容や質の向上を図る。
豊かな心の育成	○多様な人間関係の中で自己を確立し、自己肯定感や自尊感情を育む教育活動を推進する。 ○いじめ防止基本方針に基づき、「いじめをしない・させない・許さない」学校づくりを進め、誰もが楽しく過	B	・道徳の授業づくりのため若年教員を対象としたメンター会での研修の実施 ・「道徳の授業が好き」強肯定57%、「きまりを守っている」強肯定68%(肯定的評価82%)	B	全教職員で研修等を行い、指導力の向上や授業改善に取り組み、児童の意識の向上を図ってもらいたい。	意識調査等の分析や授業研究等を通して授業改善を進め、道徳的な実践力の育成に努める。
	②QUの分析等をもとに自尊感情の育成やコミュニケーション能力の向上を図る。また、いじめ防止基本方針に基づいた取組や対応の徹底を図る。 ■学級不満足群:5%→5%以下 ■自分には良いところがある:47%→50%	B	・学級づくりや児童会で自尊感情向上のための取組の実施 ・QUアンケート学級不満足群10% ・「自分には良いところがある」強肯定59%	B	自尊感情・コミュニケーション能力を向上させるための学級づくりに継続して取り組んでももらいたい。気になる児童だけでなく、個々の児童との面談も実施してみてもどうか。	各学級で肯定的な評価を促し、認め合える学級・学校づくりに取り組む。また、アンケートなどにより児童の状況を把握し、いじめの早期発見やいじめにつながる問題を防止する取組を今後も継続していく。

中期経営目標	短期経営目標(評価項目)	自己評価		学校関係者評価		改善策等
		評価	達成状況	評価	考察	
豊かな心の育成	<p>ごせる学校づくりを行う。</p> <p>③保幼小中連携による系統的なキャリア教育を行い、将来への夢や希望を持った児童を育成する。 ■将来の夢や希望がある:85%→90%</p>	B	<p>・感染症のため保幼小中の連携した取組は不十分</p> <p>・各学級におけるキャリア教育の取組実施</p> <p>・「将来の夢や希望がある」強肯定79%</p>	B	<p>昨年度よりも、工夫した取組ができていると思われる。今後、保幼小中の連携を継続して取り組み、キャリア教育の充実を図ってもらいたい。</p>	<p>保幼小中連携による系統的なキャリア教育を継続して行い、児童が将来への希望をもてる取組を行う。また、地域や地域の人材と関わる機会を継続して設けるとともに、成果を発信する力を育成していく。</p>
体力の向上と健康・安全への理解	<p>○授業での体力づくりや体育的行事等を通して、積極的に運動に親しむ態度を育成し、運動能力の向上を図る。</p> <p>○心身の健康の保持増進に向けて、生活習慣の改善に自ら取り組むことのできる資質を育成する。</p>	C	<p>・感染症のため全校での体育的行事等の取組は不十分</p> <p>・外部講師による授業により、児童の興味関心の向上、指導方法の改善</p>	B	<p>感染症のため十分な取組ができなかったと思われるが、外部講師を招いての授業など工夫して取組ができていると思われる。継続して指導力の向上に努めてほしい。</p>	<p>体育の授業改善に継続して取り組むとともに、体力づくり等の取組や外部講師による指導を継続して行う。また、朝の会や休み時間・体育集会など授業外の活動を充実させる。</p>
	②運動習慣の定着や食育推進、基本的な生活習慣の確立を図るため、通信等を通して家庭への啓発を行う。 ■肥満傾向:13%→10%未満	C	<p>・体育授業以外で30分以上の運動85%</p> <p>・生活調査等の結果をもとにした家庭への啓発</p> <p>・動画やゲームの時間に課題(90分以内60%)</p> <p>・肥満傾向20%</p>	C	<p>メディアや基本的な生活習慣・運動週間など、家庭への啓発を続け、連携した取組をしてもらいたい。保幼小中の連携も継続して改善してもらいたい。</p>	<p>基本的な生活習慣や食習慣等について、授業や放送等を活用して児童への啓発を行うとともに、調査を基にした通信等により家庭への啓発を行い保護者と連携して改善に取り組む。</p>
	③防災教育や危機管理体制の充実を図り、児童の安全確保への取組を充実させる。また、感染症予防の取組を行う。 ■防災教育の授業:5回以上 ■避難訓練の実施:5回以上	B	<p>・避難訓練等は、規模縮小や時間短縮などの工夫をして実施</p> <p>・防災に関する授業は計画通り実施</p>	B	<p>避難訓練や感染症対策など防災や危機管理に関しては工夫して取組ができていると思われる。しかし、防災アンケートの結果が昨年を下回る結果となっているため、さらに取組を進めてもらいたい。</p>	<p>避難訓練や防災の授業など防災教育の充実を組織的にすすめる。また、保護者や地域と連携した防災教育の取組を今後も継続していく。</p>
信頼される学校づくり	<p>○開かれた学校づくりを進め、保護者や地域に信頼され、ともに歩む学校運営を行う。</p> <p>○保幼小中で一貫した教育活動を展開し、人間として調和のとれた児童の育成を図る。</p>	B	<p>・生産者交流や総合的な学習の時間、社会見学等で地域の人材と関わる機会を設定</p> <p>・「先生以外の人に教えてもらうことは楽しい」強肯定77%</p> <p>・「自分の住んでいる地域が好き」強肯定86%</p>	B	<p>「自分の住んでいる地域が好き」と回答した児童が増えたことは評価できる。地域には素晴らしい人材がいるので、今後も地域や関係機関と連携して取り組んでもらいたい。</p>	<p>今後も地域の人材を活用した取組に積極的に取り組む。また、地域学校協働本部など地域ボランティアと連携した取組を継続して行う。</p>
	②保護者や地域と連携して、保幼小中一貫教育の具現化を図る。また、PTAと連携して、子育て支援や保護者ネットワークの強化を図る。 ■情報発信:保44%地57%→60% ■学校行事へ参加しやすい:保50%地57%→60%	C	<p>・感染症のため、参観日等のPTA行事の実施が不十分</p> <p>・「情報発信」強肯定保護者53%・地域39%</p> <p>・「学校行事へ参加しやすい」強肯定保護者49%・地域68%</p>	B	<p>工夫して行事等への参加を行っていると思われるが、学校に保護者や地域がより一層足を運ぶことができるように取組を行ってもらいたい。また、情報発信にも力を入れてもらいたい。</p>	<p>夜須小PTAや夜須町P連と連携して講演会等を実施するとともに、工夫してPTA行事が実施できるように計画する。また、学校だよりやメディアなど様々な機会を捉えて情報発信に努める。</p>